

# 第15回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会議事次第

日時：平成17年7月11日（月）

14：00～16：00

場所：経済産業省別館944号会議室（9F）

## 次 第

### I 開 会

### II 議 題

- (1) 「健康日本21」代表目標項目の選定について
- (2) 食育基本法の成立について
- (3) 「食事バランスガイド」について
- (4) 「運動所要量・運動指針の策定検討会」の設置について
- (5) その他

### III 閉 会

## 【 配布資料一覧 】

- |        |  |
|--------|--|
| 資料 1-1 | 「健康日本 21」における代表目標項目（案）                 |
| 資料 1-2 | 「健康日本 21」における目標値に対する暫定直近実績値等           |
| 資料 1-3 | 「健康日本 21 中間評価作業チーム」設置要綱                |
| 資料 2   | 食育基本法の成立について                           |
| 資料 3-1 | フードガイド（仮称）検討会報告書（概要）                   |
| 資料 3-2 | フードガイド（仮称）検討会報告書                       |
| 資料 4-1 | 「運動所要量・運動指針の策定検討会」設置要綱                 |
| 資料 4-2 | 「健康づくりのための運動指導者普及定着方策検討委員会」の設置について     |
| 資料 5   | 「地域がん診療拠点病院のあり方に関する検討会」設置要綱            |
| 資料 6   | 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会におけるこれまでの議論の整理（確定版） |

# 「健康日本 21」における代表目標項目（案）

平成 17 年 7 月 11 日

第 15 回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

## 「健康日本21」における代表目標項目(案)

### 一次予防(健康増進、健康づくり)

栄養・食生活	1. 1 【糖尿病、循環器病にて再掲(7. 1、8. 3)】	適正体重を維持している人の増加
	1. 2 【がんにて再掲(9. 5)】	脂肪エネルギー比率の減少
	1. 4 【がんにて再掲(9. 3)】	野菜の摂取量の増加
	1. 7	朝食を欠食する人の減少
身体活動・運動	2. 2、2. 6 【糖尿病にて再掲(7. 2)】	日常生活における歩数の増加(成人、高齢者)
	2. 3 【循環器病にて再掲(8. 4)】	運動習慣者の増加
休養・こころの健康づくり	3. 2	睡眠による休養を十分にとれていない人の減少
たばこ 【循環器病、がんにて再掲(8. 6、9. 1)】	4. 2	未成年者の喫煙をなくす
	4. 3	公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及
	4. 4 【歯の健康にて再掲(6. 10)】	禁煙支援プログラムの普及
アルコール 【循環器病、がんにて再掲(8. 9、9. 6)】	5. 1	多量に飲酒する人の減少
	5. 2	未成年者の飲酒をなくす

### 二次予防(疾病の早期発見、早期対策)

循環器病 (糖尿病)	8. 10 7. 4	健康診断を受ける人の増加 糖尿病検診の受診の促進)
がん	9. 7	がん検診の受診者の増加
糖尿病	7. 5	糖尿病検診受診後の事後指導の推進

### 疾病の発症、死亡者等の減少

休養・こころの健康づくり	3. 4	自殺者の減少
歯の健康	6. 4	(学齢期のう蝕予防) 一人平均う歯数の減少
	6. 11	(歯の喪失防止) 80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加
糖尿病	7. 6 【循環器病にて再掲(8. 8)】	糖尿病有病者の減少
循環器病	8. 7	高脂血症の減少
	8. 11	生活習慣の改善等による循環器病の減少

「健康日本 21」における目標値に対する暫定直近実績値等

平成 17 年 7 月 11 日

第 15 回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

「健康日本21」における目標値に対する暫定直近実績値等

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年		
1 栄養・食生活	1.1 適正体重を維持している人の増加	児童・生徒の肥満児 10.7%	H9年国民栄養調査	7%以下	10.8%	H15年 国民健康・栄養調査		
		20歳代女性のやせの者 23.3%		15%以下	23.4%			
		20~60歳代男性の肥満者 24.3%		15%以下	29.5%			
		40~60歳代女性の肥満者 25.2%		20%以下	25.0%			
	1.2 脂肪エネルギー比率の減少	20~40歳代 27.1%/日			25%以下		26.5%/日	
	1.3 食塩摂取量の減少	成人 13.5g/日			10g未満		11.7g/日	
	1.4 野菜の摂取量の増加	成人 292g/日			350g以上		293g/日**	
		1.5 カルシウムに富む食品の摂取量の増加(成人)		牛乳・乳製品 107g/日			130g以上	97g/日**
				豆類 76g/日			100g以上	62g/日**
	緑黄色野菜 98g/日				120g以上		100g/日**	
	1.6 自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加	男性(15歳以上) 62.6%		H10年国民栄養調査	90%以上		調査中	
		女性(15歳以上) 80.1%			90%以上		調査中	
	1.7 朝食を欠食する人の減少	中学、高校生 6.0%		H9年国民栄養調査	0%		8.7%	H15年 国民健康・栄養調査
		男性(20歳代) 32.9%			15%以下		29.5%	
男性(30歳代) 20.5%		15%以下	23.0%					
1.8 量、質ともに、きちんとした食事をする人の増加	(参考値)成人 56.3%	H8年国民栄養調査	70%以上	調査中				
1.9 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加	成人 —		—	調査中				
1.10 自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加	(参考値)自分にとって適切な食事内容・量を知っている人の割合	H8年国民栄養調査						
	成人男性 65.6%		80%以上	調査中				
	成人女性 73.0%		80%以上	調査中				
1.11 自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加	成人男性 55.6%	H8年国民栄養調査	80%以上	調査中				
	成人女性 67.7%		80%以上	調査中				

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年
1 栄養・食生活	1.12 ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進	提供数 (参考値) 飲食店、レストラン、食品売り場および職場(学校)の給食施設・食堂等のような場所で食品や料理の栄養成分表示を見たことがある人の割合 36.0%	H12年国民栄養調査	—	調査中	
		利用する人の割合 (参考値) 栄養成分表示を参考にしてメニューを選ぶ人の割合 12.8%		—	調査中	
	1.13 学習の場の増加と参加の促進	学習の場の数 (参考値) 地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあると答えた人の割合 10.3%		—	調査中	
		学習に参加する人の割合 (参考値) 地域や職場における健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりに参加したことのある人の割合 23.2%		—	調査中	
	1.14 学習や活動の自主グループの増加	自主グループの数 (参考値) 地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあると答えた人の割合 10.3%		—	調査中	
	成人(20歳以上)					
2 身体活動・運動	2.1 意識的に運動を心がけている人の増加	男性 51.8%	H8年保健福祉動向調査	63%以上	54.2%*	H15年 国民健康・栄養調査
		女性 53.1%		63%以上	55.5%*	
	2.2 日常生活における歩数の増加	男性 8,202歩	H9年国民栄養調査	9,200歩以上	7,575歩	
		女性 7,282歩		8,300歩以上	6,821歩	
	2.3 運動習慣者の増加	男性 28.6%		39%以上	29.3%	
		女性 24.6%		35%以上	24.1%	
高齢者						
2.4 外出について積極的な態度をもつ人の増加	男性(60歳以上) 59.8%	H11年高齢者の日常生活に関する意識調査	70%以上	51.8%*		
			女性(60歳以上) 59.0%	70%以上	51.4%*	
			全体(80歳以上) 46.3%	56%以上	38.7%*	
	2.5 何らかの地域活動を実施している者の増加	男性(60歳以上) 48.3%	H10年高齢者の地域社会への参加に関する意識調査	58%以上	66.0%*	
		女性(60歳以上) 39.7%		50%以上	61.0%*	
	2.6 日常生活における歩数の増加	男性(70歳以上) 5,436歩	H9年国民栄養調査	6,700歩以上	4,915歩	
女性(70歳以上) 4,604歩		5,900歩以上		4,142歩		

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
3 休 養 づ く り の 健 康	3.1	ストレスを感じた人の減少 54.6%	H8年度健康づくりに関する 意識調査	49%以下	62.2%*	H15年 国民健康・栄養調査	
	3.2	睡眠による休養を十分にとれていない人の減少		21%以下	19.9%*		
	3.3	睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少 14.1%		13%以下	17.6%*		
	3.4	自殺者の減少	全国数 31,755人	H10年人口動態統計	22,000人以下	32,109人	H15年 人口動態統計
4 た ば こ	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 知っている人の割合		H10年度喫煙と健康問題に 関する実態調査			H15年 国民健康・栄養調査	
	4.1	肺がん		84.5%	100%		87.5%*
		喘息		59.9%	100%		63.4%*
		気管支炎		65.5%	100%		65.6%*
		心臓病		40.5%	100%		45.8%*
		脳卒中		35.1%	100%		43.6%*
		胃潰瘍		34.1%	100%		33.5%*
		妊娠に関連した異常		79.6%	100%		83.2%*
		歯周病	27.3%	100%	35.9%*		
	4.2	未成年者の喫煙をなくす	喫煙している人の割合				
		男性(中学1年)	7.5%	0%	調査中		
		男性(高校3年)	36.9%	0%	調査中		
		女性(中学1年)	3.8%	0%	調査中		
		女性(高校3年)	15.6%	0%	調査中		
4.3	公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及						
	分煙を実施している割合						
		公共の場	—	100%	調査中		
		職場	—	100%	調査中		
	効果の高い分煙に関する知識の普及						
	知っている人の割合	—	100%	調査中			
4.4	禁煙支援プログラムの普及						
		禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合	—	100%	調査中		



分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
5 アルコール	5.1 多量に飲酒する人の減少	多量に飲酒する人の割合	H8年度健康づくりに関する意識調査	3.2%以下	5.3%*	H15年 国民健康・栄養調査	
		男性 4.1%					0.2%以下
		女性 0.3%					
	5.2 未成年者の飲酒をなくす	飲酒している人の割合	H8年度未成年者の飲酒行動に関する全国調査	0%	調査中		
		男性(中学3年) 25.4%					
		男性(高校3年) 51.5%					
		女性(中学3年) 17.2%					
	女性(高校3年) 35.9%						
	5.3 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及	知っている人の割合	H13年 国民栄養調査	100%	48.6%	H15年 国民健康・栄養調査	
		男性 50.3%					
女性 47.3%							
幼児期のう蝕予防							
6.1	う歯のない幼児の増加	う歯のない幼児の割合(3歳) 全国平均 59.5%	H10年度 3歳児歯科健康診査結果	80%以上	68.7%	H15年度 3歳児歯科健康診査 結果	
6.2	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加	受けたことのある幼児の割合 全国平均 39.6%	H5年歯科疾患実態調査	50%以上	調査中		
6.3	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少	習慣のある幼児の割合 (参考値)全国平均 29.9%	H3年 久保田らによる調査	—	調査中		
学齢期のう蝕予防							
6.4	一人平均う歯数の減少	1人平均う歯数(12歳) 全国平均 2.9歯	H11年学校保健統計調査	1歯以下	1.9歯	H16年度 学校保健統計調査	
6.5	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加	児童のフッ化物配合歯磨剤使用率 (参考値)全国平均 45.6%	H3年 荒川らによる調査	90%以上	調査中		
6.6	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加	過去1年間に受けたことのある人の割合 (参考値)全国平均 12.8%	H5年保健福祉動向調査	30%以上	調査中		
成人期の歯周病予防							
6.7	進行した歯周炎の減少	(参考値)40歳 32.0%	H9～10年富士宮市モデル 事業報告	22%以下	調査中		
		(参考値)50歳 46.9%					33%以下

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
6 歯の健康	6.8 歯間部清掃用具の使用の増加	40歳(35~44歳) 19.3%	H5年保健福祉動向調査	50%以上	調査中		
		50歳(45~54歳) 17.8%		50%以上	調査中		
	6.9 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 4.1 たばこ参照						
	6.10 禁煙支援プログラムの普及 4.4 たばこ参照						
	歯の喪失防止						
6.11	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加	80歳(75~84歳)20歯以上 11.5%	H5年歯科疾患実態調査	20%以上	調査中		
		60歳(55~64歳)24歯以上 44.1%		50%以上	調査中		
6.12	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加	過去1年間に受けた人の割合(参考値)60歳(55~64歳) 15.9%	H4年寝屋川市調査	30%以上	調査中		
6.13	定期的な歯科検診の受診者の増加	過去1年間に受けた人の割合60歳(55~64歳) 16.4%	H5年保健福祉動向調査	30%以上	調査中		
7 糖尿病	7.1 成人の肥満者の減少	1.1 栄養・食生活参照					
	7.2 日常生活における歩数の増加	2.2 身体活動・運動参照					
	7.3 質・量ともにバランスのとれた食事	1.8 栄養・食生活参照					
	7.4 糖尿病検診の受診の促進	(参考値)健康診断受診者 4,573万人	H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査	6,860万人以上	5,875万人*	H13年国民生活基礎調査	
	7.5	糖尿病検診受診後の事後指導の推進	糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率	H9年糖尿病実態調査			H14年度糖尿病実態調査
			男性 66.7%		100%	74.2%	
			女性 74.6%		100%	75.0%	
	7.6	糖尿病有病者の減少(推計)	糖尿病有病者数 690万人		1,000万人	740万人	
	7.7	糖尿病有病者の治療の継続	糖尿病有病者の治療継続率 45%		100%	50.6%	
	7.8	糖尿病合併症の減少					
7.8a	糖尿病性腎症	糖尿病性腎症によって新規に透析導入となった患者数 10,729人	1998年「わが国の慢性透析療法の現況」(日本透析医学会)	—	13,632人	2003年「わが国の慢性透析療法の現況」	
7.8b	失明	糖尿病性網膜症による視覚障害 約3,000人(1年間)	1988年「視覚障害の疾病調査研究」	—	調査中		

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
8	8.1 食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照					
	8.2 カリウム摂取量の増加	成人 2. 5g/日	H9年国民栄養調査	3. 5g以上	2. 4g/日**	H15年 国民健康・栄養調査	
	8.3 成人の肥満者の減少	1. 1 栄養・食生活参照					
	8.4 運動習慣者の増加	2. 3 身体活動・運動参照					
	8.5 高血圧の改善(推計)	(参考値)平均最大血圧 男性 132. 7mmHg 女性 126. 2mmHg	H10年国民栄養調査	†	男性130. 5mmHg 女性124. 7mmHg	H15年 国民健康・栄養調査	
	8.6 たばこ対策の充実	4. たばこ参照					
	8.7 高脂血症の減少	高脂血症の人の割合		H9年国民栄養調査	5. 2%以下	11. 5%	H15年 国民健康・栄養調査
		男性 10. 5%					
		女性 17. 4%	8. 7%以下				
	8.8 糖尿病有病者の減少	7. 6 糖尿病参照					
8.9 飲酒対策の充実	5. アルコール参照						
8.10 健康診断を受ける人の増加	検診受診者 4, 573万人	H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査	6, 860万人以上	5, 875万人*	H13年 国民生活基礎調査		
循環器病	生活習慣の改善等による循環器病の減少(推計)						
	8.11 脳卒中死亡率(人口10万対)	全体 110. 0	H10年 人口動態統計	†	104. 7	H15年 人口動態統計	
		男性 106. 9		†	102. 7		
		女性 113. 1		†	106. 6		
	脳卒中死亡数	全体 13万7, 819人		†	13万2, 067人		
		男性 6万5, 529人		†	6万3, 274人		
		女性 7万2, 290人		†	6万8, 793人		
	虚血性心疾患死亡率(人口10万対)	全体 57. 2		†	58. 2		
		男性 62. 9		†	65. 0		
		女性 51. 8		†	51. 6		
	虚血性心疾患死亡数	全体 7万1, 678人		†	7万3, 353人		
		男性 3万8, 566人		†	4万0, 080人		
女性 3万3, 112人		†		3万3, 273人			

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
9 がん	9.1	たばこ対策の充実	4. たばこ参照				
	9.2	食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照				
	9.3	野菜の摂取量の増加	1. 4 栄養・食生活参照				
	9.4	1日の食事において、果物類を摂取している者の増加	摂取している人の割合 成人 29.3%	H9年国民栄養調査	60%以上	調査中	
	9.5	脂肪エネルギー比率の減少	1. 2 栄養・食生活参照				
	9.6	飲酒対策の充実	5. アルコール参照				
	9.7	がん検診の受診者の増加					H13年 国民生活基礎調査
		胃がん	(参考値)1,401万人	参考値:H9年健康・福祉関連 サービス需要実態調査	2,100万人以上	1,973万人*	
		子宮がん	(参考値)1,241万人		1,860万人以上	1,024万人*	
		乳がん	(参考値)1,064万人		1,600万人以上	766万人*	
		肺がん	(参考値)1,023万人		1,540万人以上	1,231万人*	
大腸がん		(参考値)1,231万人	1,850万人以上		1,425万人*		

注)

暫定直近実績値等は平成17年5月31日現在の数値である。

\* の暫定直近実績値等は、策定時のベースライン値を把握した調査と暫定直近実績値等を把握した調査とが異なっている数値。

\*\* の暫定直近実績値等は、食品成分表の改訂にともなった重量変化率の換算が必要な数値。

† は、目標値としての設定はなされておらず、他の目標項目の達成度に応じた推計値が記載されている項目。

「健康日本 21 中間評価作業チーム」  
設置要綱

平成 17 年 7 月 11 日

第 15 回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

# 「健康日本21中間評価作業チーム」設置要綱

## 1 目的

厚生労働省においては、平成12年より、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を推進している。「健康日本21」では、目標の設定と目標を達成するための具体的な諸活動の成果を適切に評価して、その後の健康づくり運動に反映させることを基本方針の一つとして掲げている。

そこで、「健康日本21中間評価作業チーム」は、2005年度の中間評価に向けて、専門家等から意見を聴取し、評価のための作業を行うことを目的とし、厚生労働省健康局生活習慣病対策室長が設置するものである。

## 2 組織

- (1) 構成メンバーは、「健康日本21」の計画策定に携わった分野ごとの専門家等若干名で構成し、座長を1名置く。
- (2) 必要に応じて有識者等を招聘するものとする。

## 3 検討事項

「健康日本21」の中間評価について

## 4 事務局

運営事務は、健康局総務課生活習慣病対策室が行う。

## 5 その他

この要綱に定めるものの他、「健康日本21中間評価作業チーム」の運営に関し必要な事項は、生活習慣病対策室長が定める。

## 健康日本21中間評価作業チーム委員名簿

氏 名	所 属
1 内山 真	国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部長
2 岡山 明	国立循環器病センター循環器病予防検診部部長
3 尾崎 米厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野助教授
4 門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授
5 河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医歯総合研究科教授
6 下光 輝一	東京医科大学衛生学公衆衛生学教室教授
7 田畑 泉	(独)国立健康・栄養研究所健康増進研究部長
8 辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野教授
◎ 9 富永 祐民	(財)愛知県健康づくり振興事業団健康科学総合センター長
10 樋口 進	(独)国立病院機構久里浜アルコール症センター副院長
11 宮武 光吉	(財)歯科医療研修振興財団理事
12 山口 直人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生学教授
13 吉池 信男	(独)国立健康・栄養研究所研究企画・評価主幹

◎座長

(平成17年7月11日現在)